

くじゅう 平治岳・大船山、阿蘇 杵島岳・烏帽子岳

九州ピンクのお山と緑のお山

日時:2024年6月8日~10日

メンバー:A原、M上、M浦

ミヤマキリシマで山がピンクに染まるのを観てみたい!と思い続けてかれこれ10余年。

思いはあったが、毎年この時季は、山スキーシーズン終盤から山菜採り山行にフェードアウトしつつ沢登りシーズンへ突入していたので、わざわざ飛行機と有休を取って九州までピンクのお山を見に行くという行動にはならなかったのが常だった。

それがなんか知らんけど、「今年いなくていつ行くの?今でしょ(死語)」なんて思ったわけで、結構早い時期に飛行機のセールに飛びついたのだった。

行きはANA、帰りはソラシドエアのセール便。どちらも8千円台のチケットが取れた。

さあ、もう行くしかないぞ。

例会のたんびにメンバー募集して集まったのが、あややとムラp。十分な布陣である。頼もしいし楽しい気のおけないメンバーだ。

山行日程は3日間。1泊はテント泊、2泊目は温泉民宿の計画にした。

ピンクのお山候補は、くじゅうの平治岳、大船山、三俣山、高塚山、由布岳あたり。緑のお山候補で阿蘇の杵島岳が挙がった。

山行日が近づき気になる天気予報は…芳しくない。晴れ女を自認していたが中日に雨マークがついた。ちっ。

であれば潔く、坊ガツルにテント幕営する計画を法華院温泉山荘泊りに変更だ。大部屋素泊まり6000円也。

大幅に計画変更を強いられたが、テント分が軽くなったしいつでも温泉に入れる。楽しみナリ!

■6/7(金) 私は仕事を終えて19時発のANA便で熊本入り。熊本空港でムラp、あややのおっちゃんズと合流。この日は無人駅の某駅に泊まらせてもらう。

■6/8(土) 5時起床としたのにムラpが早い時間からガサガサ。おまけに口笛まで吹いているし。よほど嬉しいのか。ちょっと~時間まで寝かせてよ~。

今日は夕方から雨予報だ。計画を縮小して平治岳と大船山に登り、法華院温泉山荘に泊まることにした。

登山口の大曲駐車場はすでにいっぱい路駐が長く伸びていた。私たちも空きスペースに停め6:50スタート。窪のような道を行くとやがて長者原からの道に出合う。車道のような広い道を行き、涸れた沢を横断すると登りになる。ところどころミヤマキリシマの群落があった。

ミヤマキリシマってツツジをイメージしていたけど葉もお花もツツジより小ぶりでかわゆらしい。

【*ミヤマキリシマ(深山霧島):命名は牧野富太郎 1909年新婚旅行で霧島を訪れた際、「深い山に咲くツツジ」という意味で「ミヤマキリシマ」と命名した】

諏蛾守越は三俣山への分岐だが、風が出てきて雨具をつけた。ここいらは霧が出やすい箇所らしく石にはおびただしい数の黄色のマーキングがあった。

広くて平らな道をしばらく行くと法華院山荘への下りになった。

8:27 法華院山荘到着。不要な荷物をデポして平治岳へスタート。坊ガツルのテンバでは20張りほどのテントがあった。草地で広々として気持ちの良さそうところだ。

樹林帯に入り、淡々とした歩きに飽きたころ9:40 大戸越に着いた。ここが平治岳、大船山の基点なので多くの人が出た。

平治岳へは登りルートと下りルートがありところどころ渋滞していた。登り下りが合流する地点は平たん地で見事なピンクの山肌が一望できた。

おお~きれい。これこれ、これが観たかった景色。坊ガツルの広大な草原も見下ろせた。



10:35 平治岳とうちゃこ。ハイカーでにぎわっていた。近づいてみると、花びらが茶色になっていたり落ちてしまっていたりして時季的には最盛期を過ぎたのだからうけど十分きれい。

大戸越に戻ってきた。次は大船山だが、ガスだし霧雨がきてるし、宿に戻って風呂入ろうか？ と提案するもあややが行く気まんまん。大船山から下りてきたハイカーに聞くと、雨は無くお花は見事、とのこと。ならば行くか、と重い腰を上げるのであった。

しかし登れど登れどガスで真っ白け。ほらみろ、と毒づくも北大船山あたりでピンクの群落が見えた。おお、すごいすごい、とカメラを向けると、

ほーら、来てよかったでしょ？

ふんっ。

大船山では視界は無かったのでとっとと下山。大船山避難小屋でいっぽんと歩き出すとまた視界が晴れてきてミヤマキリシマの群落が見えた。

下山はまた鬱蒼とした樹林帯の中を行く。雨は避けられるけど、視界が無いのが残念だ。

坊ガツルのテンバに着くと、もう気分は温泉。オンセンビールオンセンビールつぶやきながら歩く。

14:19 法華院温泉山荘着。

法華院山荘の大部屋は 100 枚ほど布団がセットされていた。なんか収容所みたいだ。温泉ではシャワーも石鹸もないがお湯はかけ流しで適度な熱さでいい湯だ。湯に浸かりながらとうとう雨になった景色を眺めた。

談話室でツマミやカレーを作ってゆっくりくつろいだ。寝る前にもう一度温泉に浸かった。



■6/9(日) 雨音で何度も目覚めた。テントの人たち、たいへんだらうな。

当初 6 時起床としたが雨音が止むことが無いのでふて寝してゆるゆると過ごす。回りがザワザワしてきたので起きたし談話室で朝食を摂った。

雨が小雨になったので、8:55 法華院温泉山荘を出発。ガスは深そうで視界が無さそうなので三俣山登山はやめた。

今日は登山者とはほとんど会わなかった。10:30 大曲の駐車場着。昨日満車の P には 2 台しか停まっておらず、路駐の私たちの車もポツネンとしていた。

時間はたっぷりあるので、熊本名物の赤うし丼を食べに行きましょう。

ここいらの赤うし丼で一番人気のいまきん食堂では 30 組ほど待っていたが、空腹には勝てず、熊本ラーメンに転進。豚臭が熊本ラーメンの特徴か。

時間があつたので鶴見岳のロープウェイ乗り場まで行くも、やはり真っ白けなのでスルー。

今日のお宿、民宿涌蓋に向かう。宿では、内湯、露天風呂に浸かり、美味しい食事をいただきゆっくりと過ごせた。

■6/10(月) 7 時の朝食を済ませ、阿蘇五岳のひとつ、杵島岳に向かう。

【*阿蘇五岳:高岳、中岳、根子岳、杵島岳、烏帽子岳】 車窓の風景はなつかしの WindowsXP の壁紙のような草原が広がる。道みち牛や馬が放牧されていて牧歌的だ。この子たち、赤うし丼になっちゃうのかな？

登山口の草千里駐車場は平日だからかガラガラだった。霧雨が小降りになるまで待機。てんくらは A だったので、じきにやむだろう。

杵島岳へは階段上りだ。ガスっていたが次第にガスが晴れてきて視界が出てきた。歩き出して 30 分ほどで杵島岳に着いた。

北外輪山カルデラが見えた。反対側には阿蘇五岳の峰みねも見えた。雲間に久住の山も見えた。

世界最大級の巨大カルデラを実感する。カルデラ内では水田や民家があり、暮らしの営みが見えた。

杵島岳も小さなカルデラ地形になっており、いま私は、まるで緑色のお鍋の縁に立っていて、見下ろすと火口の鍋底には吹き出物のような凸があった。

杵島岳から往生岳への連なりは緑色したお椀を逆さにしたようなお山の見本のような美しい並びだ。

一方、阿蘇の中岳、高岳あたりは荒々しい山肌に青白い噴煙が立ち昇っている。溶岩の流れの筋が生々しい。

見晴台を經由して国道に下り、烏帽子岳に向かう。尾根通しを行かず草千里ヶ浜のへりから登った。

何組かの韓国からのハイカーとすれ違った。アニョハセヨー

烏帽子岳といってももちっとも烏帽子っぽくなくたおやかな感じた。烏帽子岳にもミヤマキリシマがあるらしいが、ここいらのミヤマキリシマはほとんど終わっていて、代わりにタニウツギが咲いていた。





山頂からは草千里ヶ浜と放牧された馬たちが見えた。草原の中には駒立山の小山をはさんで二つの池があり、それが先週見たばかりの太陽の塔の顔に似ていた。

烏帽子岳から草千里への下山はおっちゃんズは丘のような駒立山経由ルートで行くといい、私は起伏を嫌って草千里ヶ浜ルートをとった。先に行くよ、と言い残して先に下りた。階段をポクポクと降りた。

途中、すごい数のヒバリが舞っていた。

草千里まで下りてくるともうここは観光地。老若男女がうじゃうじゃ。草をはむ馬にカメラを向けるひとひとひと。まあ、アタシもその一人なのだけど。馬くんは気にもかけず、ぱくぱくはむはむ。

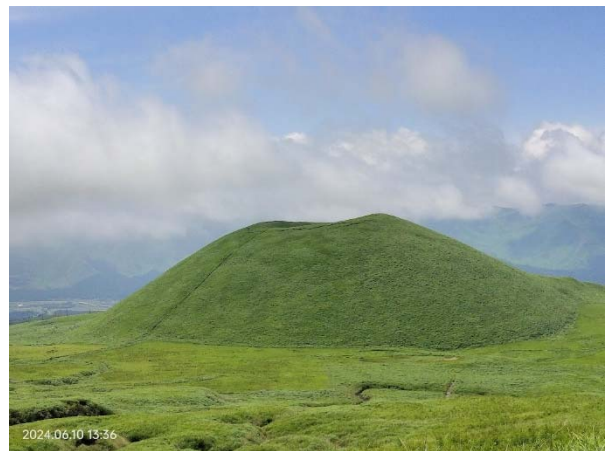
朝、閑散としていた駐車場はいまや満車状態だった。ほとんど「わ」ナンバーだった。私たちはとっとと駐車場をあとにし、この旅もうひとつの狙いの赤うし丼を食べに行く。

途中、「阿蘇のえくぼ」と呼ばれる米塚の均整のとれた美しい円錐の姿がとて美しいかった。

【*米塚:神様が大きな手で山頂部から米をすくったという神話に由来】

昨日入れなかったいまきん食堂へ。待ち時間 20 分ほどで入店！いざ！うーん、赤うし丼うまし！ ミディアムレアに焼いた肉とワサビが合う。半熟卵や、肉とご飯の間に敷かれた大根のおしんこも絶妙。添えられた肉みそのしょっぱさでさらにご飯が進む。挽肉と大根？の澄まし汁もいい。

食後は宝湯温泉、400 円。男性の方には民家から丸見えの露天風呂があったそう。



旅も終わりが近づき大満足の気配。かき氷を食べながらふとメールを見ると、

【ソラシニア】6月10日 20便 欠航のお知らせ のタイトル。

はて？

開くと、使用する飛行機の手配がつかないため欠航とのこと。ええ?! なんと、たちまち顔に縦線の入ったちびまる子ちゃん状態になる。

もうそこからは帰りの便を探し、LCCを予約し、低価格の手荷物7kgに抑えるため超えた荷物をあややとムラPの荷物に入れてもらったり濡れタオルを捨てたり、もう汗だくとなりはあはあ。。

やっと荷物も7kgに収まり、LCCのチェックインを済ませた。ふう。

まだ時間があつたので、ソラシドエアのカウンターで払戻しをしようとしたら、会社都合の欠航なのでタダでANAに振替便手配してくれるとのこと。えええ?! なんと

もうLCC手配済みなのだけど、と言ったら、LCCの解約手続きをしてくれ、「夕飯の足しに」といって封筒入りの1000円を渡された。

振替便は最初のソラシド便より1時間半あとの便で得はしてないのだけど、なんか得したような錯覚。ま、いいか。

最後に怒涛のバタバタ劇があつたけど、それも含めて3日間の楽しい山行が幕を閉じたのであつた。

ピンクのお山を観たくて計画した山行は、天気の良いので計画した全山は行けなかつたし、お花の時期もちょっと遅かつたけど、それでも十分美しくじゅうのピンクの山やまを観ることができた。

また、「火の国」熊本のシンボルである阿蘇山の美しい山やまは素晴らしかつた。草の緑色の山と火山灰や溶岩に覆われた荒々しい山など阿蘇の大地を感じることもできた。

食事や温泉、人との交流も魅力的だつた。

また来年もぜひ来たい、来ようと思つた。

そして。

日常が当たり前のように戻ってきました。

陽射しと汗じみを気にして日陰を探して歩きながら、

信号待ちの無表情なひとたちや混んだ電車の中でスマホを見ているひとたちを見ながら、

びゅんびゅん低飛行で飛んでいくツバメを見送りながら、

九州の山を歩いた3日間がいとおしくて遠い日のことのように思い出されます。

よかつたなあ、九州。

また行きたいです。また遊んでください。

【コースタイム】

6/8(土) 6:50 大曲P-8:27 法華院温泉山荘 8:45-9:40 大戸越-10:35 平治岳-11:15 大戸越-12:04 北大船山-12:35 大船山-14:19 法華院温泉山荘(泊)

6/9(日) 8:55 法華院温泉山荘-10:30 大曲P 民宿涌蓋(泊)

6/10(月) 9:45 草千里駐車場-10:15 杵島岳-12:24 烏帽子岳-13:10 草千里駐車場



赤うし井



熊本ラーメン

おしまい

記:A原